

目 次

第Ⅰ章 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査設計	3
3. 調査内容	4
4. 回収結果	4
5. 報告書の見方	5
第Ⅱ章 回答者のプロフィール	7
1. 性別	9
2. 年齢	9
3. 就労経験の有無	10
4. 職業	10
5. 結婚の有無	11
6. 配偶者の年齢	11
7. 配偶者の職業	12
8. こどもの有無	12
9. 一番下のこどもの状況	13
10. 家族構成	13
11. 居住地域	14
第Ⅲ章 調査結果の要約	15
1. 男女平等に関する意識について	17
2. 家庭生活・子育てについて	20
3. 男女の就業・仕事について	23
4. 男女の社会参画について	25
5. 男女間における暴力について	27
6. 男女共同参画を推進するための取組について	30
7. 困難な問題を抱える女性への支援について	30
第Ⅳ章 調査の結果	33
1. 男女平等に関する意識について	35
(1) 男女の地位の平等感	35
(2) 性別役割分担意識	43
(3) 性別役割分担に同感する理由	48
(4) 性別役割分担に同感しない理由	51
(5) 「男性らしさ」「女性らしさ」によって負担感や生きづらさを感じたことの有無	54
2. 家庭生活・子育てについて	56
(1) 家庭生活での役割分担	56
(2) 家庭生活の優先度	63
(3) 子育て経験の有無	67

(4) 子育てへのかかわり	68
(5) 子育てへのかかわりが十分ではない理由	71
3. 男女の就業・仕事について	74
(1) 女性の働き方の理想と現実	74
(2) 勤務先の女性の労働環境	80
(3) 男性が育児・介護休業を取得することについての考え	83
(4) 育児・介護休業の取得状況	87
(5) 女性が結婚後、出産後も退職せずに働き続けるために重要なこと	92
(6) 女性が結婚や出産のために退職し、その後再就職するために重要なこと	97
(7) 仕事と家庭の両立に必要なこと	101
4. 男女の社会参画について	105
(1) 地方自治体などの施策への女性の意見・考え方の反映度	105
(2) 女性の意見や考え方が反映されていないと思う理由	109
(3) 女性の意見や考え方をより反映させるために改善する必要があると思うもの	114
(4) ポジティブアクションに対する考え方	117
(5) 強く存在すると思う男性特有の負担感や生きづらさ	120
(6) 男性特有の負担感や生きづらさが強く現れていると思う場面	122
5. 男女間における暴力について	124
(1) 夫婦間の暴力と認識される行為	124
(2) 配偶者等への暴力の被害経験	135
(3) 加害行為に至ったきっかけ	147
(4) 配偶者等からの暴力の被害経験	150
(5) 配偶者等からの暴力の被害経験の時期	158
(6) 配偶者等からの暴力により命の危険を感じたこと	164
(7) 配偶者等から暴力を受けた時の対処（心情）	165
(8) 暴力行為によるケガや医師の治療	166
(9) こどもによる暴力被害の目撃	167
(10) こどもの被害経験	168
(11) 配偶者等からの暴力に関する相談	170
(12) 特定の異性からの執拗なつきまとい等の被害経験	171
(13) 交際相手の有無	173
(14) 交際相手からの暴力の被害経験	175
(15) 配偶者からの暴力について相談した相手	180
(16) 交際相手からの暴力について相談した相手	182
(17) 配偶者からの暴力について相談できなかった理由	183
(18) 交際相手からの暴力について相談できなかった理由	185
6. 男女共同参画を推進するための取組について	186
(1) 男女共同参画に関する言葉の認知度	186
(2) 「With You さいたま」の利用経験	198
(3) 「With You さいたま」に期待すること	200
(4) 男女共同参画に関する情報の入手方法	203
(5) 男女共同参画社会実現のために必要なこと	205
7. 困難な問題を抱える女性への支援について	208

（１）「困難女性支援法」の認知度	208
（２）これまでに抱えたことのある悩み	209
（３）悩みの相談相手.....	211
（４）悩みを相談した結果.....	213
（５）悩みを相談したことがない理由	215
（６）悩みを相談したい方法・場所	217
（７）女性が困難な状況から回復するために必要なこと	219
（８）家に居場所がない女性に対してあるといいと思うサポート	221
（９）悩みや課題を抱える女性を社会全体で支援できているか	223
 第Ⅴ章 自由回答	225
 第Ⅵ章 調査票	235

